

# 旧村川別荘だより



157号 嘉納治五郎銅像建立特別号

令和2年5月7日発行

旧村川別荘市民ガイド事務局

我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課

歴史文化財担当：斉藤、海老原、手嶋、今野

〒270-1166

我孫子市我孫子1684番地

TEL:04-7185-1583(直通)

E-mail:abk\_bunka@city.abiko.chiba.jp

## 特別号の発行について

前回お知らせしたとおり、6月までの月例会とガイド活動は休止となりましたが、結果的に5月7日に開催された我孫子市新型コロナウイルス感染症対策本部会議で、6月30日までの旧村川別荘の休館が決定しました。

ガイドの皆様には、ご心配をお掛け致しまして申し訳ありません。どうぞご理解くださいますようお願い致します。

さて、今回は「嘉納治五郎先生之像」建立特別号と題し、4月15日に天神山緑地(緑1の10)に建立された嘉納治五郎の銅像についてお話します。

## 「嘉納治五郎先生之像」ができるまで

### ◎嘉納治五郎について

みなさんご存じだと思いますが、嘉納治五郎についておさらいしてみましょう。

嘉納治五郎(1860～1938)は、柔道の創始者であり、東洋初の国際オリンピック委員として、柔道をはじめ体育の普及に尽くし、「日本体育の父」と呼ばれています。我孫子には明治44(1911)年に別荘「臨湖閣」を設け、手賀沼周辺に作られた邸宅・別荘の人々(杉村楚人冠、村川堅固など)と我孫子の町の人々に大きな影響を与えました。

令和2年は嘉納治五郎生誕160年、我孫子市制50周年にあたる節目の年であり、我孫子の文化を守る会をはじめとした市民の方々の寄付等によって、嘉納治五郎が別荘を構えた天神山緑地に銅像が建てられることとなりました。

### ◎銅像について

「嘉納治五郎先生之像」の原型は、昭和11(1936)年に嘉納の喜寿を記念して彫刻家、朝倉文夫が作成したものです。像の大きさは、高さ

214cm、幅74cm、重さ300kgです。

銅像の制作にあたっては、朝倉が作成した石膏像を原型に鋳型をつくり、銅・スズ・鉛・亜鉛の合金で鋳造しています。表面が黒色なのは生前の朝倉の指示によるもので、塩化アンモニアと硫黄を塗布



し、一度表面を腐食させて下地を作り、黒いラッカーとワックスを塗り重ねて仕上げています。

鋳造直後の銅像。奥に石膏型(原型)がある。

### 彫刻家・朝倉文夫について

朝倉文夫(1883〈明治16〉～1964〈昭和39〉年)号は紅塚(こうそ)。「東洋のロダン」と呼ばれた。兄、渡辺長男も彫刻家。1903年東京美術学校(現・東京芸術大学)彫刻選科に入学。1910年、最高傑作といわれる「墓守」発表。1921年に東京美術学校の教授に就任、ライバルと称された高村光太郎と並んで日本美術界の重鎮であった。1934年にアトリエを改築し「朝倉彫塑塾」を作る(後の朝倉彫塑館)。1944年、東京美術学校教授を辞し皇室技芸員、従三位、勲四等瑞宝章受章。アトリエは戦災をくぐり抜けるが、戦時中の金属供出のために400点余の朝倉の作品はほとんど消滅してしまう(原型は300点余が残された)。戦後も精力的に自然主義的写実描写に徹した精緻な表現姿勢を一貫して保ち続け、1948年には第6回文化勲章を受章。1958年には日展の顧問に就任した。非常に多作であり、全国各地に数多くの像を残した。

今回制作された「嘉納治五郎先生之像」は、同じ原型で作られた銅像がこの他に6体あり(うち

1 体は太平洋戦争中に供出されて現存せず)、いずれも嘉納ゆかりの地にあります(筑波大学東京キャンパス、講道館、筑波大学、灘高校、台東区朝倉彫塑館)。

### 「嘉納治五郎先生之像」設置から完了まで

ここからは、天神山緑地に先生之像をお迎えするまでを追ってみましょう。

銅像の設置自体は、2 日間で行われました。

1 日目：3月23日

3 月下旬とはいえ、とても寒い日でした。

まず、場所を決めて杭を打ちます。



土台を入れる穴を掘り…

セメントを流し入れ、1 日目は終了。



2 日目：4月2日  
青空の中の作業です。  
土台を設置し…



いよいよ、像が運び込まれます！

そして、本来であれば除幕式が行われるはずだった 4 月 15 日(※新型コロナウイルス感染症の影響により中止)、ひっそりと



梱包が取り扱われました。上記は梱包された姿です。そして…



設置完了です！  
手賀沼を眺める、堂々

とした像です。実物はもっと素晴らしいので、皆様もぜひ一度ご覧ください(^)



### 連絡事項

現時点での対応は下記の通りです。

◎臨時休館：6月30日(火)まで

◎ガイド活動及び月例会について：6月まで休止

※7月の月例会やガイド活動については、詳細が決まり次第お知らせします。

毎回臨時休館の期間が延び、申し訳ありません。新型コロナウイルス感染症の市内及び国内状況を鑑みて、市としての判断を決定しているため、皆様にはご不安やご心配をお掛けしておりますが、どうぞご理解くださいますようお願い致します。休館中も旧村川別荘だよりは発行したいと考えています(内容はお楽しみに・・・)。

皆様にお会いできる日を担当一同楽しみにしています(\*^-^\*)

令和2年6月15日発行

旧村川別荘市民ガイド事務局

我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課

歴史文化財担当：斉藤、海老原、手嶋、今野

〒270-1166

我孫子市我孫子 1684 番地

TEL:04-7185-1583 (直通)

E-mail:abk\_bunka@city.abiko.chiba.jp

# 旧村川別荘だより



## 158号 休荘中の修繕について

### 158号の発行について

6月11日、関東甲信地方の梅雨入りが発表されましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。緊急事態宣言が解除され、少しずつ施設の開館等も増えてきています。旧村川別荘も、敷地内を見ていただくことはできるようになりました。新館・母屋の入室は、あともう少しお時間をいただければと思います。

さて、休荘中に旧村川別荘内を少し修繕しました。今回はその様子をお届けしたいと思います。

### 修繕その1 母屋畳替え

まずは、母屋からです。ひなのまつりなどで使用頻度の高い母屋ですが、畳が大分古くなっていました(画像参照)。



そのため今回、母屋の畳の表替えを行いました。



←畳を全て剥がし、表替を行います。

出来上がりが、こちら。とてもきれいになり、お客様を気持ちよくお迎えすることができます。

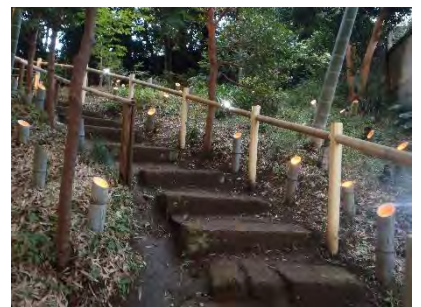
今は外から見ることはできませんが、中に上がれるようになったらぜひ踏みしめてご確認ください。新しい



畳の気持ちの良い感触が味わえます(\*^-^\*)

### 修繕その2 表門から母屋へ続く階段

次に、表門から母屋まで続く階段の修繕です。旧村川別荘に来ていただく際に、多くの方が利用される階段。竹灯籠のタペでも、灯籠を並べています(写真参照)。しかし段によっては凹凸があったり、雨が降ると土が削れて階段に流れ込み滑りやすくなったりと、修繕する必要がありました。そこで、段のこぼこをできるだけなくし、階段の脇に板を入れることで、土の流入を防ぐ措置を取りました。



以前よりも安定した階段になりました。

### 修繕その3 母屋と新館の間の通路

最後に、母屋の縁側前を通り新館へ向かう通路の修繕です。

この通路は、雨が降ると水が溜ってしまい、管理人さんが用意してくれた糞の子(?)の上を慎重に通っていただく対応でしたが、非常に

不安定で、滑りやすく、特に雪の日などは心配でした（写真参照）。



そこで、この近くに排水溝をつくり、溜まった水を下へ流すようにしました。これで、雨や雪の日も安心です(^)



旧村川別荘は、四季折々で様々な装いを見せてくれます。また、晴れた日だけでなく、雨の日や雪の日も趣きがあり、いつ行っても期待していた以上の景色を見ることができます。新型コロナウイルス感染症による閉荘は大変残念なことでしたが、旧村川別荘の素晴らしさを改めて感じることができた機会でもありました。

### 番外編：杉村楚人冠記念館、白樺文学館について

杉村楚人冠記念館、白樺文学館は6月9日（火）から開館しています。それぞれ企画展を開催中です(^) 貴重な資料が多数公開されます！

#### ☆杉村楚人冠記念館

我孫子市制50周年・我孫子を知る1年企画

「寄贈資料展 楚人冠と湖畔吟社」

期間：6月9日（火）～9月27日（日）

内容：杉村楚人冠が設立した、俳句結社湖畔吟社の会員たちは楚人冠の影響を最も強く受けた我孫子の人々です。今回は会員の所縁の方からご寄贈いただいた河村蜻山作灰落としや、楚人冠が揮毫したうちわなどの資料を公開します。

#### ☆白樺文学館

『白樺』創刊110年記念 市制施行50周年記念

「志賀直哉展—山田家コレクションを中心に—」

期間：6月9日（火）～11月8日（日）

※エレベーター工事のため、8月3日（月）～9月30日（水）は休館

内容：志賀直哉のご子孫である、山田家から寄贈された資料を展示。志賀直哉の描いた油彩画をはじめ、ほとんどが初公開の資料です。

月例会があれば、各館の学芸員に詳しく説明してもらえますが…。今回はぜひ、実際に現地に行ってお覧になってください！

#### 【新型コロナウイルス感染症対策について】

各館とも、マスクの着用や手指消毒、入館時のお名前前の記入などをお願いしています。また、密集を防ぐため一時的に入館をお待ちいただくこともあります

（職員が誘導します）。

さらに、白樺文学館の地階は閉鎖し、杉村楚人冠記念館の展示の補助説明として使用しているタブレット端末の貸し出しを中止しています。



### 連絡事項

現時点での対応は下記の通りです。

◎旧村川別荘の屋外部分のみ公開。母屋・新館は入館できません。

◎7・8月のガイド活動及び月例会は休止

※月例会やガイド活動については、詳細が決まり次第お知らせします。

公共施設の開館等については、市として全体を見極めて判断しています。そのため対応に時間がかかり申し訳ありません。母屋と新館の入室につきましても、市民の皆様の安心や安全を第一に慎重に判断していきます。また、母屋や新館が入室できるようになりましたら、速やかにお知らせします。

皆様にはご不安やご心配をお掛けしておりますが、どうぞご理解くださいますようお願い致します。

皆様にお会いできる日を楽しみにしています  
(\*^-^\*)

# 旧村川別荘だより



159号

令和2年10月23日発行  
旧村川別荘市民ガイド事務局  
我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課  
歴史文化財担当：斉藤、海老原、手嶋、今野  
〒270-1166  
我孫子市我孫子1684番地  
TEL:04-7185-1583（直通）  
E-mail:abk\_bunka@city.abiko.chiba.jp

## 10月の月例会が開催されました

10月1日（木）に月例会が開催されました。今回は、文化・スポーツ課辻による「志賀直哉『流行感冒』を読む」と題した勉強会を開催しました。勉強会の内容については、別紙でお届けします。この紙面では志賀直哉と我孫子について（皆様もちろんご存じだとは思いますが…）おさらいしたいと思います。

## 志賀直哉と我孫子について

志賀直哉は大正4（1915）年、既に我孫子に住んでいた柳宗悦の勧めで我孫子に移住しました。その後、武者小路実篤やバーナード・リーチなども移住し、白樺派の若い芸術家たちとの交友を通じて創作意欲を高め、大正12（1923）年に京都に移住するまでの7年半、多くの作品を執筆しました。

《志賀直哉が我孫子で執筆した作品一覧》

- 大正6年  
『城の崎にて』『佐々木の場合』『好人物の夫婦』『和解』『赤西蠣太』
- 大正7年  
『或る朝』『夜の光』
- 大正8年  
『十一月三日午後の事』『憐れな男』『流行感冒』
- 大正9年  
『焚火』『小僧の神様』『真鶴』『或る男、其姉の死』『謙作の追憶』『雪の日』『菜の花と小娘』
- 大正10年  
『暗夜行路』（前編）※後編を発表し完結したのは昭和12年

このうち我孫子のことが書かれているのは『和解』『好人物の夫婦』『十一月三日午後の事』『流行感冒』『雪の日』などです。こうしてみると、志賀直哉の代表作と言われているものの多くが我孫子で執筆されたことがわかりますね。

現在、『白樺』創刊110年記念 市制施行50周年記念 志賀直哉展—山田家コレクションを

中心に一」が白樺文学館で開催中です。

11月8日（日）までです。まだご覧になっていない方は、ぜひご来場ください(^)。



## 連絡事項

◎旧村川別荘ひなのまつり出張展「華」で遊ぶ

今年残念ながら開催できなかった「ひなのまつり」ですが、鷺見さんに多大なご協力をいただき、アビスタで出張展示することになりました！テーマは「華」。四季折々の花が華やかに彩ります。皆様ぜひお越しください＼(^o^)/  
期間：11月9日（月）～15日（日）午前9時～午後9時（初日正午～）  
場所：アビスタ2階展示スペース

◎市制施行50周年「我孫子を知る1年企画」講演会「常民文化の芸術性—民藝・民俗・民具の今日—」を開催します

我孫子市文化財審議会委員で神奈川大学教授の佐野賢治先生による講演会を開催します。我孫子市にゆかりのある民俗学者「柳田國男」、民藝の提唱者で我孫子にも居住していた「柳宗悦」、日本銀行総裁や大蔵大臣を務めた財界人・民俗学者で柳田國男とも交友があった「渋沢敬三」を紹介し、今後の我孫子市の文化資源活用を考えていきます。皆さま、ぜひご参加ください！

日時・場所：10月31日（土）午後2時～（1時30分開場）、アビスタホール  
申込・問い合わせは文化・スポーツ課TEL7185-1583まで！もちろん費用は無料です(\*^-\*)

◎次回月例会については、詳細が決まり次第またご連絡します。毎回直前のご報告になってしまい、申し訳ありません。

# 旧村川別荘だより



160号

令和2年11月26日発行  
旧村川別荘市民ガイド事務局  
我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課  
歴史文化財担当：斉藤、海老原、手嶋、今野  
〒270-1166  
我孫子市我孫子1684番地  
TEL:04-7185-1583（直通）  
E-mail:abk\_bunka@city.abiko.chiba.jp

## 11月の月例会が開催されました

11月4日（水）に月例会が開催されました。今回は、辻による「志賀直哉『十一月三日午後の事』を紐解く」と題した勉強会を開催しました。勉強会の内容については、別紙でお届けします。この紙面では、アピスタで行った「旧村川別荘ひなのまつり出張展『華』で遊ぶ」の様子をお届けします。

市の鳥「オオバン」たちが、水辺で遊ぶ様子。アヤメや蓮の花が咲き乱れています。



●第4 学習室前スペース  
夏～冬にかけての花たちです。



## 旧村川別荘ひなのまつり出張展「華」で遊ぶ

11月9日（月）～15日（日）までアピスタ2階展示スペースで、ひなのまつりの出張展示を行いました。

テーマは「華」。四季折々の美しい花々を鳥や動物、お人形たちが囲み、生き生きと彩りました。

### ●第3 学習室前スペース



女の子と犬が朝顔を見ています。思わず足を止めてしまうような、素晴らしい朝顔だったのですね。

今年の干支であるねずみがお迎えしてくれます。



第3学習室前は、春～初夏にかけてです。春は花の季節。たくさんのお花がスペース内に咲き誇りました。

### ●印刷室前スペース

おなじみ、リーチの椅子と旧村川別荘の由来と建築についてのパネルです。来年の干支、丑の飾りも右端に…



開催には、鷺見さんに多大なご協力をいただきました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

## 連絡事項

◎次回月例会は、12月1日（火）午前9時30分～教育委員会4階大会議室で開催します。

令和2年12月9日発行

旧村川別荘市民ガイド事務局

我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課

歴史文化財担当：斉藤、海老原、手嶋、今野

〒270-1166

我孫子市我孫子1684番地

TEL:04-7185-1583(直通)

E-mail:abk\_bunka@city.abiko.chiba.jp

# 旧村川別荘だより



161号

## 12月の月例会が開催されました

12月1日(火)に月例会が開催されました。今回は、高木学芸員による「杉村楚人冠記念館企画展『随筆に書かれた我孫子のむかし』」と題した勉強会を開催しました。勉強会の内容については、別紙でお届けします。

この紙面では、旧村川別荘の深まる秋の様子をお届けします。

## 旧村川別荘の秋

12月初旬に旧村川別荘を訪れました。美しい紅葉と旧村川別荘をお楽しみください。



母屋(休日のため雨戸が閉まっています…)



新館(だいぶ色づいています)



新館の屋根を上からの通路から見たところ(あまり見ないアングルですね)。

## 連絡事項

◎次回月例会は、1月12日(火)午前9時30分～教育委員会4階大会議室で開催します。

今年は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、日常生活に多大な影響を与えるなど、1年前のこの時期には全く予想できなかったことが起きてしまいました。情報や市の方針も社会情勢に応じて変わり、ボランティアガイドの皆様にもご心配・ご不便をお掛け致しました。

新型コロナウイルス感染症については、海外でワクチンが承認された、など希望の光も見え始めています。来年もしばらくは思うように活動できない日々が続くかと思いますが、少しでも新しい生活様式に合わせた試みができないかなど、考えていきたいと思っておりますので、お力添えのほど、どうぞよろしくお願い致します。

本年も大変お世話になりました。来年もどうぞ、よろしくお願い致します。



令和3年1月15日発行

旧村川別荘市民ガイド事務局

我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課

歴史文化財担当：斉藤、海老原、手嶋、今野

〒270-1166

我孫子市我孫子 1684 番地

TEL:04-7185-1583 (直通)

E-mail:abk\_bunka@city.abiko.chiba.jp

# 旧村川別荘だより



162号

## 緊急事態宣言の発令について

1月8日に東京都と千葉県・神奈川県・埼玉県に緊急事態宣言が発令されたため、1月12日に予定していた月例会は中止とさせていただきます。急なご連絡で申し訳ありませんでした。

この紙面では、現在白樺文学館で開催中の「我孫子の風景展」がより楽しめるよう、お話したいと思います。

## 原田京平について

### ◎原田京平の略歴

月例会でも何度もお話しているので今更…という気もしますが、この機会に原田京平についておさらいしてみましょう。

原田京平は、1895（明治28）年静岡県に生まれ、1913（大正2）年に18歳で上京し、洋画家の道を歩み出しました。また、窪田空穂（うつぼ）に師事した歌人としての顔も持っています。

1922（大正11）年、創立と共に春陽会に参加し、翌年の第一回展覧会に「秋の日」を出品します。以後、亡くなるまでに12回入選し、精力的に活動を続けましたが、1936（昭和11）年1月に病気のため死去します。享年40歳。7月に銀座日動画廊、8月に阪急洋画廊で遺作展が開催されました。また、同年遺歌集『雲の流れ』（ユニオン社）も刊行されており、師である窪田空穂も文章を寄せています。

### ◎原田京平と我孫子

原田は1921（大正10）年に結婚し、同年10月、妻の睦（むつ）を連れて我孫子の島田久兵衛別荘に移住します。近隣に住む志賀直哉との交流も始まりました。志賀の日記に原田の長女、麻那の誕生が記されていることからわかります（『志賀直哉全集第13巻』岩波書店）。

1923（大正12）年3月、志賀が我孫子を去った後は、志賀邸母屋で1928（昭和3）年に世田

谷に移るまで暮らします。

我孫子では子どもも2人授かり、志賀直哉や彼を慕ってやってきた瀧井孝作や中勘助などとも交流を持ちました。また、志賀が我孫子を去った後は、志賀邸の離れに住んだ中出三也や甲斐仁代、度々訪れた三岸好太郎・節子夫妻など、若い画家たちが集まり、芸術について語り合いました。原田にとっても家族や友人に囲まれた充実した時間だったのではないのでしょうか。

### ◎春陽会について

春陽会は1922（大正11）年、原田がもともと所属していた再興日本美術院洋画部と岸田劉生らの草土社が合流した団体として創立されました。設立当時のメンバーには原田の師でもある山本鼎のほか、小杉未醒、足立源一郎、倉田白羊、長谷川昇、森田恒友、梅原龍三郎、さらに客員として石井鶴三、今関啓司、岸田劉生、木村莊八、中川一政、萬鉄五郎などがいました。

### ◎原田の名前・号について

原田は多くの名前を使い分けています。本名の京平のほか、1914（大正3）年に日本美術院洋画部の研究会員となって以降は恭平と名乗っています。また、春陽会結成の頃から「聚文（しゅうぶん）」、1932（昭和7）年頃から「和周（わしゅう）」という号を使い始めます。

### ◎原田京平の家族

#### ・妻、睦

原田京平の妻、睦も画家・詩人でした。我孫子へ移住後、生まれた子どもの世話や家事のために絵筆を絶ちましたが、京平の死後、油絵の具で帯などに花の絵を描くなどして生計を立てます。

1954（昭和29）年に本格的な創作活動を再開し、女流画家協会展や国展などに入選。



1966（昭和41）年茨城県笠間芸術村にアトリエ、工房を建築します。1984（昭和59）年、八十八歳記念自選展の開催直前に死去。

一方詩作については、我孫子時代のものが多いようです。

・娘、麻那、南

長女の麻那は父京平の友人でもあった柳宗悦の紹介で染織家柳悦孝（よしたか、宗悦の甥）に、次女南は洋画家猪熊弦一郎にそれぞれ弟子入りし、染織家と画家として活躍しました。

#### ◎原田京平の作品から

原田京平の自画像について、白樺文学館稲村学芸員にお話を伺いました。

#### 「原田京平自画像」について

この自画像は1921年12月27日という記述がある。現在確認できる関係資料の中でも原田初期の作品といえる。同年11月27日、28日には白樺派とも親交の深い岸田劉生が我孫子第一小学校での講演会のために我孫子へやってきており、志賀直哉の家へ泊まっている様子が岸田劉生の日記に描かれている。その記述の中には「若い画を書く人」も一緒に志賀邸で話しているとある。残念ながらこの人物が原田かどうかは不明であるが、この後原田は、自分が所属した日本美術院洋画部と岸田率いる草土社が合同した春陽会に参加している。少なからず接点はあったはずだが、その接点は未だ見えない。原田家に残った資料は現在白樺文学館に寄贈されて3年を迎える。発信の甲斐もあって今年1月末から開催の一宮市三岸節子記念美術館の展覧会にこの自画像が出品される。三岸節子は夫の三岸好太郎ともども我孫子時代に親交があった人物である。こうして少しずつではあるが我孫子ゆかりの画家原田京平が認知され、評価されていくことによって新たな事実が明らかになっていくのかもしれない。



「原田京平の自画像」は3月14日まで愛知県一宮市の三岸節子記念美術館に出品されているため、現在はご覧いただくことができません。再び実物が見れるのは、今年の秋くらいかも…？とのことですので、皆様、その時を楽しみにお待ちください(\*^-^\*)

#### 白樺文学館「我孫子の風景展」

今回の「我孫子の風景展」では、睦の詩と京平の絵画を展示しています。睦の柔らかな印象の詩と京平の絵画を併せて見ると、当時の情景が浮かんでくるようです。

原田京平の資料は後世に伝えるため、修復を行っています。今回の展示は修復された絵画を存分に見ていただけます。まだまだ修復が必要な絵画は数多いですが、毎年少しずつ修復していきたいと思えます。思わぬ掘り出し物？もあるかもしれません。2月28日（日）まで開催していますので、緊急事態宣言解除後、是非足を運んでみてください。



ハケの道と手賀沼

#### 連絡事項

◎旧村川別荘 臨時休館について

旧村川別荘は、樹木剪定のため、1月19日（火）と26日（火）を臨時休館とします。広報あびこ1月16日号でもお知らせしています。

#### 次回は・・・

次回月例会は未定です。緊急事態宣言解除後、改めてお知らせ致します。



令和3年2月5日発行

旧村川別荘市民ガイド事務局

我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課  
歴史文化財担当：斉藤、海老原、手嶋、今野

〒270-1166

我孫子市我孫子 1684 番地

TEL:04-7185-1583 (直通)

E-mail:abk\_bunka@city.abiko.chiba.jp

# 旧村川別荘だより



## 163号

### 163号の発行について

2月2日、緊急事態宣言が延長されたことに伴い、2月の月例会は中止とさせていただきます。3月の月例会については緊急事態宣言解除後、改めてお伝え致します。

今回は、旧村川別荘内樹木の剪定・伐採後の様子についてお伝えします。

### 樹木の剪定・伐採について

1月18日・19日、25日・26日の4日間、別荘内の樹木の剪定・伐採を行いました。自然を感じることでできる美しい旧村川別荘ですが、樹木が茂りすぎて（土がよいのでしょうか）少し鬱蒼としてきてしまったことと、建物の上を覆うように茂ってしまい、台風などで市指定文化財である母屋を傷つけてしまう可能性があったため、剪定・伐採に踏み切りました。

位置図（旧村川別荘 新館・母屋）



今回剪定・伐採したのは、けやき、さわら、ひのき、もみじ、くすのきです（上図参照）。

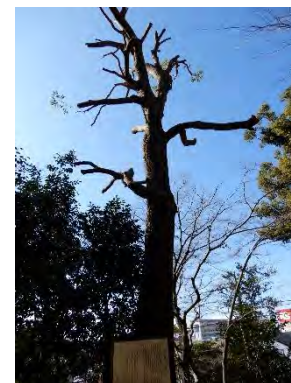
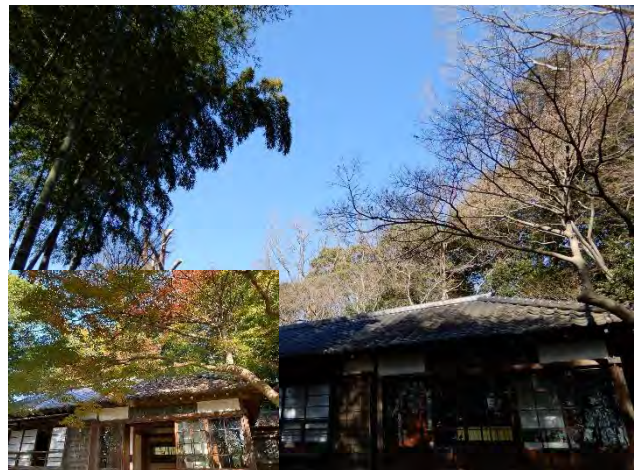
剪定後の様子をご覧ください。



1. さわら・ひのき→伐採  
けやき→剪定  
剪定後のけやきです。青空に映えています(^)

### 2. もみじ→剪定

母屋の前にかかっていたもみじを剪定し、建物がより見えるようになりました（参考：左下写真）。



### 3. くすのき→剪定

だいぶさっぱりしました

写真が小さく、見えづらくて申し訳ありません。散策の際などに是非お立ち寄りいただき、実際にご覧ください(\*^-^\*)

### 連絡事項

◎昨年同様、ひな壇を2月19日（金）～3月3日（水）の期間、母屋に飾ります。庭から見ていただく形になりますが、ぜひご覧ください。

立春は過ぎましたが、まだまだ寒さは残ります。皆様どうぞ、ご自愛くださいますようお願い申し上げます。



令和3年3月8日発行

旧村川別荘市民ガイド事務局

我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課

歴史文化財担当：斉藤、海老原、手嶋、今野

〒270-1166

我孫子市我孫子 1684 番地

TEL:04-7185-1583 (直通)

E-mail:abk\_bunka@city.abiko.chiba.jp

# 旧村川別荘だより



## 164号

### 164号の発行について

3月5日、緊急事態宣言が延長されたことに伴い、3月の月例会は中止とさせていただきます。4月の月例会については緊急事態宣言解除後、改めてお伝え致します。

今回は、旧村川別荘の春の様子についてお伝えします。

### 連絡事項

白樺文学館と杉村楚人冠記念館は感染対策をしっかりと行った上で運営しています。両館とも3月から新たな展示を行っています。

◎白樺文学館

「白樺派と我孫子2021」 前期

6月27日(日)まで

今年は志賀直哉没後50年、白樺文学館開館20年です。今回は旧白樺文学館所蔵資料を中心の展示です。

◎杉村楚人冠記念館

「観光案内と地図で見る楚人冠の旅 ～欧米編」  
5月9日(日)まで

杉村楚人冠が海外に特派された際に蒐集した観光案内、地図類を中心に、一部関連資料を加えて展示します。

いずれも期日が長いため、緊急事態宣言解除後でも充分間に合います。ぜひお越しください。

### 事務局より

今年度最後になる3月の月例会はぜひ開催したい、と準備を進めていましたが、緊急事態宣言が延長となってしまいました。皆様にお会いすることができず、事務局としてもとても残念です。4月の月例会では、今後の旧村川別荘について皆様からご意見を伺えれば、と考えています。社会情勢を見ながらにはなりますが、ぜひとも開催したいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

今年度は新型コロナウイルス感染症への対応に追われた1年でした。皆様にもご心配やご不安をお掛け致しました。来年も試行錯誤の1年になるかもしれませんが、どうぞご理解・ご協力くださいますようお願い致します。



### ひな壇かざりを飾りました

2月19日～3月4日まで、旧村川別荘の母屋にひな壇飾りを飾りました。今年は新型コロナウイルスの影響で、母屋に入って見ていただくことができませんでしたので、外から見ていただけるよう部屋の中央に配置しました。今回はひっそりと行いましたが、来年度は、華やかなまつりが開催できればいいですね(^)



### 旧村川別荘の椿

3月4日、旧村川別荘を訪れました。天気が良く、暑くもなく寒くもない気持ちのいい日でした。

ちょうど椿が咲き誇っていました。椿、というと杉村楚人冠記念館が思い浮かびますが、旧村川別荘の椿は景色に溶け込み、絵のような美しさがあります。



まだ蕾もたくさん残っていたので、ぜひご覧になってください(\*^-^\*)